

んでいらっしやっただお家ですか？また繰り返すのも申し訳ないのですが、震災後 U 病院へ搬送されて、そのままずっといらして、出産されて…。

S：気仙沼の病院は、臨月にならないと対応できないって言われてずっと入院してて、その間に帰りたいとか、やっぱり帰らせてあげたいけど無理だったとか、なんかそういうのが何回かあって。それで、「来週の金曜日、帰れるね、よかったね」って、みんなで「決まったね」って言ってたんです。その日の朝にちゃんと決まって、私もみんなに金曜日帰るって、なんてメールしようかなと思って、当時は私がすごい古株になってて、みんなもう出産したりで居なくなってたので。おう思いながらお昼を食べて、下膳したときにタラッとなって、あれ？って思ったら、タラッ、ダラッってなったんですよ。ダラッってなったから、あっと思ってトイレに行ったら、すごい出血してて、びっくりっていうよりちょっと笑えたんですよ。あっ、ここで来たの？って思って。せっかく退院が決まったのにハイハイと思って、仕事柄そういうの動揺しない方なんですけど、処置室っていうか行ったら、先生がすごい深刻な顔をして、今、金曜日に退院ってパソコンに入れたんだよねって言いながら。そしたら高位破水っていうんですか、もう破水もしてるし、陣痛もきてるねって言われて。

Int1：それは、出産のどのぐらい前ですか？

S：前日ですね。いつも張ってるとかは言ってたんですけど、この時期は多少ねって言われてたから、この時期はそうなんだって、私も思ってて、多分それが予兆だったのか何なのか、張ってるよって言われても、分かんなかったって。相談したらこのまま産んじやいましょうって、あっさりと。何カ月も相棒のようにつながってた点滴が、ヒュッと抜けて、あつみたいな感じ。(笑) 心境的には、常に一緒にヘリコプターにも乗ってだったのが、あっけなく外され、ああ、これが最後だったんだみたいな感じで。

Int1：そういうエピソードがあったんですね。それで、翌日ご出産なさって、お家に戻られたのはいつ頃ですか？

S：結局、子どもが早産で入院しなくちゃいけなかったので、3週間ぐらいかな K 病院の近くに、子どもに付き添ってるお母さんたちが、寝泊まりできる、1日 1,000 円だったか 2,000 円だかで、お風呂も付いてて、布団とかもあって、台所と食堂は共同で、あとは自分でつくって食べてみたいな感じの施設があるんです。私も何カ月も入院してたし、筋力もかなり落ちてて、しばらく自分の体を支えるのがいっぱいいっぱい。産んだから退院しなくちゃいけなくて、その施設から U 病院まで、バスで 20～30 分かけて通って。

Int1：そのくらいバスに乗って通ったんですね？

S：体が動かないから、目の前にバス停があるのに、何でこんなに遠いんだろって。気持ちは前に進んでるのに、体が動かなくて、バスのステップを降りるのもカクンみたいな。でもたまたま一緒に入院してた人が、同じく NICU に子どもが入院してたから、車に乗せるよって言ってくれて、バスでは何回か通ったかな、あとはそのお友だちが、その施設近くから拾ってくれて、それで行って、帰りも一緒に帰って来て。

Int1：あら本当ですか。お友だちに助けられて一緒にその期間通ったんですね。そうすると、産後すぐには、お家に帰れなかったけれども、その期間中は…？

S：親が来て、どうにかこうにかその場をつないで。

Int1：産後には、上のお兄ちゃんはまだお家に戻られてて、義理のご両親の方に見てもらって、それで中学校に通っていたんですよ。その辺りの対処としては、頼る人も居たしっていうところで、整

理がついてたんでしょうかね？

S：ばあちゃんっていても、旦那と私が再婚したから、ばあちゃんなのであって、向こうも「血が繋がってないとか、そういうの気にしないよ」なんて言うんですけど、でもやっぱり生活となると気使うんですよね、お互いに。気使わないからって言ってるけど、気は使ってるし、うちの子どもも落ち着いてるような落ち着いてないような。大丈夫だよって言ってるけど、我慢してるんだろなみたいな。

Int1：頭の整理ができてないんですけど、引き取ったお子さんっていうのは、今のご主人の前の奥さんとの間にできたお子さんですよ。それで、今のご自身の長男さんは？

S：今の主人の子どもではないんです。

Int1：そうなんですね。再婚の方同士で、今回ご出産なさった赤ちゃんが今のご主人のお子さん、そういうことなんですね。そういうことで、義理のおじいちゃん、おばあちゃんは、子どもの面倒を見には来たけれどもっていうところで、長男さんにしてみると、実際の血縁上のおじいちゃん、おばあちゃんではないと。

S：そうですね。たまに行く分にはいいけども。

Int1：そういうことなんですね、なるほどなるほど。今いろんな形態の家族の方がいらっしゃるし。今回は震災もあって、出産前の入院とか、お子さんが早産で生まれたこともあって、病院に拘束される時間が思ったよりも長いというか、いろいろ状況があって、そういう面でいろんな方の手を借りて。

S：それで、「来週帰れる！やった！」って言ってるときに、生まれてまた帰れないんだあって…。子どもの入院もあと何週間かっていうので、またガクッていうもんですよ。

Int1：朝そういう話ししてたのに。

S：エーッみたいな。また？じゃないけど、向こうの親からしてみれば、エーッという感じですよ。うちの子どもからしてみると、やっと帰ってくるって思ったのが、ああ、また帰って来れないのか…っていう。

Int1：ストレスですね。両方からね。だけど帰ってきたら、お兄ちゃんは喜んでっていうところで、義理のお父さん、お母さんも喜んでくださってますか？帳消しみたいになっただけでしょうかね。

S：でも、私が入院中、面倒見てるときに、旦那ともめたりとかして、そんなわだかまりとかっていうのも…。

Int1：遠く離れてれば起きないようなケンカが生活すると起きたりですね。でも、義理のおじいちゃん、おばあちゃんとは現在はどうですか？その後1年ぐらい経ちましたけども、つながりは？

S：ちょうど島と本土じゃないけど、その距離がうまい具合に作用して、悪いんだけど、いいような悪いような、適度な距離を保ちつつ…。

Int1：ご主人のご両親との関係っていうのは、そういうことだっただけのことですね。実のお母さんとの関係は、現在はどうなんでしょうかね？さっきもすぐく心配で、仕事もこのまま続けるということもおっしゃってましたけれども、その辺りは整理中なのかな。

S：このまま、お母さんの面倒みるっていうのはおかしいけど、支えていけなくちゃいけないのは、自分なんだよなって。

Int1：その辺、ご主人も同意している感じですか？

S：してないと思いますね、そこは。そこんこと同意してないっていうか、今、自分の子どもをお母さんに面倒みてもらってるから、頭が上がらないけども、自分は長男だし、最終的には大島に行かなく

ちゃいけないしっていう、まずそこは違った問題が。でも私、そっちの大島の親も、こっちからやってあげるっていう気持ちではやってないですけど、こうやるのが当然だっていう気持ちで常にやっていたんですけど、逆にあっちからしてみると、やってもらって当然だぐらいに思ってるって、このごろ思うんです。例えば、逆にあっちから、下の子どもに会いに来るとか、わざわざ何か用があって来るんだから、ついででいいからちょこっと顔見に来るとか、そういうのが全くないので、だから、だんだんこっちがバカらしくなってきて、それを旦那に言ったんですね。「こっちではこうやるべきだと思ってやってるけど、あっちからは何もない。ただ、今は別々に暮らしているけど、今後一緒に暮らすのであれば、そういうところも気使うのが当然なんじゃないの。こっちからお母さん、お母さん、お父さんって行くだけじゃなくて、あっちからもどうだ？っていうのが、別に暮らしても家族なんではないの」って。ただ、そういうのもないから、それはおかしいと思うし、今まで黙ってたけども、子どもを自分のうちの孫だ孫だと言ってのに、うちの母親に面倒みてもらってる立場なのに、「見てもらって申し訳ないと思うし、お世話さまです」の一言もないんです。それもどうなの？って。だって、自分のうちの孫を見て、同じ孫にしても、内孫とか外孫とかややこしいんです、田舎だから余計に。

Int1：ご主人にそういうふうにお話された？

S：もう知らないよって。例えば、節目節目で泊まりに行ったりとかそういうのは、もちろん嫁だからするけども、それ以外のことは、私は知らないよってなるからねって。

Int1：そうすると、ご主人はなんておっしゃるんですか？

S：そうだよな、お前の言ってることはもっともだって。

Int1：ご主人は、話は聞いてくれるんですね。

S：だから、深刻になって言えば聞く。

Int1：週末にご主人は、夫としてご自分なりにいろいろ手伝ってくれるっていうこともあるみたいだし、話も聞いてくれるっていうこともあるようですが、逆にご主人が、家族調整も含め、なんかこういうことをやってくれればもっといいのにみたいな、そういったご希望みたいなものってありますか？私が伺っても、どうしてもさしあげられないんですけども…。

S：旦那ね、取りあえず一生懸命、外で仕事してればいいかな。亭主元気で留守がいいじゃないけどって自分でも言ってるし、私もそんなことないよって言うけど、実際問題はそうですね。

Int1：いろいろと用事が増えますのでね、居ると居ないとでは。

S：そうなんですよ、帰ってくると本当に忙しいんですよ。勉強もやっていいぞって言うけど、居るからできないのって。

Int1：その存在がね。

S：そうなんですよ。落ち着いたらコーヒー作ってとか、自分で作ればいいじゃん、コーヒーぐらいって思うけど、だって俺が入れるとおいしくないからとか。(笑)

Int1：現在は、今週のケアマネの試験に向けて頑張っていらっしゃるわけですけども、下のお子さんのことですか、あとその他のことでも、今なんか気になっていらっしゃる事とか、ご心配なこととかって何かありますか？ご自身の健康のことでも、いろいろなことがあると思うんですけども。もう、お兄ちゃんは大丈夫そうなので。

S：本当は、内心は仕事をしないで、子どもの側にいたいんです。

Int1：下の子の側にいたい？

S: 本当は。例えば、せめて幼稚園になるまでは一緒にいたいんだけど、やっぱり経済的な面もあるし、どうにかやりくりすればできるんだらうけど、その仕事の面に対して、なんか一步踏み出したから後には引けないみたいなのところもあるし。仕事に行くときとか、本当は、一緒にいたいっていうのはありますね。例えば、今回風邪を引いたときに、それをお母さんに預けるって…、どこの親もそうだと思うんですけどね。旦那も、「本当は幼稚園に上がるまでは一緒にいさせてあげたかったんだけど、ごめん」とは言うんですけど、できれば子どもと一緒にいたい。今回は、なおさら、過酷な状況を一心同体に、お腹の中で一緒に過ごしてきて、大変な思いを背負いながら生まれて、やっと一緒に気仙沼の地を踏んで。ヘリコプターで搬送されたときは、本当にもう二度と家族と会えないかもしれないって思いながら行ったんですよ、号泣しながら。街並みが、津波のヘドロとか、車もこんなになってたりとか、列になってみんながお店の開店をすごい行列になって立って待ってるのとかを、今まではワンセグで点滴のコンセントに差して隠れて見てたんですよ、布団の中で。そうやって情報を収集してただけでも、実際話とかでも聞いてたけど、初めて病院から外に出て、実際目の当たりにして、そこでまたショックで、家族と離れたショックと実際を見てのショックと、もうわけわかんなくなつて。仙台に行って、同じ被災地なんだけど、向こうの病院は暖かいし、温かいご飯も来るし、布団に寝てって、みんなが大変な思いをしてるのに、私はそこを離れて何をやってるんだって。逃げてきたわけじゃないんだけど、私だけこんな何事もなくてご飯も食べてって。公衆電話がそのとき無料で使えたので、それまではこっちも全然電話もつながらなかったから、ヘリコプターの中で、あとはもうとにかく病院に着いたらみんなに連絡をしなくちゃいけないと思って、そこで初めて携帯の電波が入って、ハッと思って、結構メールとかも入ってたから、その電話をしたり、お父さんがそのとき見つけてなかったから、お父さんが帰って来ないんですっていうのを、身内の人に電話で連絡したりとか、何か私なりにできることをしなくちゃいけないと思って。自分の今の1番上のお兄ちゃんも、要は本当のお父さんと引き離してしまっただけ、そういう面とか結構苦労させてきたところがいっぱいあるから、負い目じゃないけどなんかそういうのもあるから、この子にはそういう思いをさせないようにっていうところもあるし、それで余計に離れたくないっていうか。

Int1: 上のお兄ちゃんがお父さんと離れたのは何歳のときだったんですか？

S: 本当に産まれてすぐです。

Int1: じゃあ、もう分からない？会ったりは？

S: してないですね。

Int1: いろんな思いがあって、今この子と一緒に居たいっていう気持ちなんですね。ケアマネの試験は受けるんだけど、次の就職先が確定していて、いつから仕事っていうところはないんですよ。

S: ないです。今のところに勤めてて、もしそこで役立てばそこでケアマネの仕事をするままだけでも、もし非常勤でいいところがあれば、そこに行って、できれば自分の時間っていうか…。でも、仕事始めてから、今この現在までの仕事で妥協できないんですよ、仕事もともと好きだからそうなんです。好きだから、上の子のときもそうだったけど、仕事にワッてなりすぎて、子どもをそっこのけじゃないけど、自分は仕事を一生懸命やって、じいちゃん、ばあちゃんに預けてたから。多分、みんなそうなんだろうけども、私もちっちゃいときに両親が仕事をしてて、寂しいって思ったときも何回もあったし、上にお兄ちゃんがいて、私よりもお兄ちゃんの方がかわいいんだとか、いろんな感情が子どもなりにあったから、そういうのと自分の子どもを照らし合わせると、なんかね…。

Int1: そうすると、いま本当は、下の子と居たいと。でも、いろんな思いや事情があって、ちょっと

そこのところで。

S：いろいろ葛藤が。仕事は一生懸命やりたいし、でも、仕事を一生懸命やりますってなると、今度は子どもと離れてる時間も多くなるし、最初の頃は、取りあえず午前中 2 時間とか、午後 3 時間とか、その間に子どもと交わってる時間があったんですけど、今はもう仕事が 1 日中とかそんな感じだから。

Int1：なるほど、今、子育てのそういった葛藤があるんですね。保育所や身内の方のご協力ですぐいぶん助けられたりして、現在に至ると思うんですけども、今こういう行政の支援があればいいとかありますか？まあ、今でなくても例えば大変な思いで入院なさってた期間も含めて、こういう支援ほしいよなっていうところ、思ったこととかありますか？

S：どうだろう、日々いっぱいいっぱい。前にも言ったし、今さっきも言ったんですけど、こうやって話をする事によって、ちょっと気分も変わるから。

Int1：ご自身のことをね。お友だちとかそういう方に話すっていうのと、また違いますかね。

S：友だちだと、あんまり込み入った話ができない。逆に、今日みたいなこういう関係だと専門的なので精神面とかそういうのとかでも、自分がしゃべっても安全なんですよ。友だちに話してしまうと、それが後々まで続いたりする内容だったり、知られたくないこととかもあるし。

Int1：U 病院に行かれて、お家の中がすごくいろんな意味でギクシャクしているときに、例えば専門家と話ができる、そういった窓口みたいのがあったとしたら、今回はそういった体制も多分なかったと思うんですけども、そういう支援なんかがあったらずいぶんご相談に行ったりしたでしょうかね。

S：多分そこまで行き着けないと思いますね。だから本当にそんなときは、同じ病室の友だちにそういうのを中に秘めつつも、しゃべってることでなんかボソボソって言えば、ボソボソって返ってくるから、そこで愚痴の言い合いっこしたりとか、その関係もすごいよかったし。あと、臨床…、カウンセラーの人とかにも。

Int1：そういう方も入って、いろいろ話をしたりされてたんですね。

S：多分、その震災前から居たと思うんです。そのお産する人でいろんな病状で入院している人たちの悩みを聞く立場だと思うんですけど、その方にもいろいろ聞いてもらって。みんなが居たから話せない部分もあったけど、4 人部屋だったので、聞かれては困ることがあるときは、違うところで話とかした。その方にも、そういう面ではすごく助けられたし、あと病棟の看護師さんたちにもすごい話を聞いてもらって助けられたので、そういう面で本当に支えてもらって、すごく感謝してますね。

Int1：入院しているときは、それ以上、専門家に何かあっていうところは、特になくてっていうところなんですね。ご出産後はどうですかね。

S：出産後、うちに帰って来てから？

Int1：そうですね、例えば何か心の支援でもいいですし、他のこういった支援がほしかったなっていうような、今から思えばでも、現在でもいいですし。保育園に入るのは、簡単に見つかったんでしたよね。

S：一時保育で何回か預けてて、10 月から大丈夫だよって言われてすぐ入れたので。

Int1：そこはわりかしスムーズなんですね。どうですか、お友だちの話なんかでも、保育園とか預かってくれるところなんていうのは、わりかし皆さんスムーズにいく印象ですかね。

S：結構、ばあちゃんとかに見てもらったりとか。私の周りでは待機待ちっていう人は居ないですけど。あとは自分でみれるとかね。

Int1：なんでお聞きするかというと、その土地によって、その辺の事情がどうも違うらしくて、その

辺の支援はどうなのかなと思ってるんですけど。

S：ただ、自分の親も例えば定年して働いてなければ、甘えられるけど、親もみんな働いてて、自分も働きたいけど、その預けるところがとか、例えば親も働いてて、居ないときとかに子どもが熱を出してとか、そういうとこがね。でもみんなそれは同じなんですよね。

Int1：そのいろいろな背景、状況によって、みなさん困ってる内容とかが違う。今例え話で、保育園に入所とかはどうですかってお聞きしたんですが、そうすると、この支援は絶対というところはなんですかね、今のところは。退院後はご不自由はなかったでしたかね、物資の面とか。

S：物資はわりと、仮設とかそういうところに優先されてて、うちにいる人たちにはあんまり。みんなが要らなくなったような、物資でもらったもので余ったからあげるとかっていうので、回ってきたのが助かったかな。

Int1：具体的にどういった品物ですか？

S：紙おむつですね。おむつとか、あとうちではミルクやらなかったけど、ミルクとか。

Int1：母乳は順調でしたか？

S：うん、今も出ます。安定して。

Int1：今なんか卒乳って言って、ずっと飲ますそうですね。今もそうですか？

S：だから、お迎えに行って車に乗ったらベロリとか、寝る前とか、あと夜中泣いたときとか。

Int1：なるほど。お乳のトラブルなんかは、お仕事なさってても、その辺、大丈夫なんですね。

S：ほどよく。

Int1：それはよかったですね。分かりました。入院中はいろいろ話を聞くスタッフがいたけれども、こちらに戻って来た後、友だちとは違って、カウンセリングを受けるほどの問題があるわけではないけども、心の整理をしたいときとか、そういうときに話す人っていうのは。

S：多分、仮設だと回って来たりとかしてるんでしょうけど、やっぱりうちに住んでるとそういう面ではないですよ。

Int1：例えば、保健師さんなりそういう人たちが、出産後、家庭訪問に来るじゃないですか。あんなふうにお仕事の日でないときとかに、様子を伺いにでも来てくれるとどうなんですかね。でも育園にも行ってらっしゃるから、そこで用事が足りるのかしらね、先生たちにいろいろ聞いたりして。

S：でも先生はあくまでも先生なので、そういうとこの話まではしないから。

Int1：そうですね、お子さんの成長に関することですね。

S：だから、旦那の子どもをちょうど向こうから引き取って大変なときで、どこにも話しようがないときに、保健婦さんが出産後の訪問で来て、話をしたときには、子どもよりもそっちの話をいっぱいしたんです。もし何かあったら来てください、連絡くださいとは言われたけど、それを改まってこっちから連絡して、愚痴っていうかを言うところまではいかなくて。だから多分、連絡くださいって言われると、遠慮じゃないけど我慢するんですよ。だから、例えば定期的に来てくれれば…。

Int1：回ってきますっていうことであればね。

S：強制的にじゃないけど、もうこの人は大丈夫だなんていうところまでは、しばらくかかると思うんですけど…。そこかな。

Int1：産後の訪問のときに話したことで、心は軽くなりましたか？

S：同調してくれる人がいるだけでも、すっきりするんですよ。「そうだね、大変だね、お母さん頑張ってるね」って言われるだけで、ちょっとすっきりするんですよ。それまでは、自分が頑張んな

くちやとか、あっちもやって、こっちもやってとか思ってるのを、頑張ってるって認められるじゃないけど、そう言われれば、子どもみたいに、褒められればまた頑張れる。

Int1：そうですね、分かりますよ。

S：それが仮設ではあるけれど。

Int1：定期的にあるけれども、お家が影響受けてない方なんかは、そういったところのケアがね。

S：ましてや子どもが小さいと、外にも出れないっていうか。

Int1：そうですね、分かりました。ありがとうございます。今日はちょっと長い時間、お話を伺っちゃいましたけれども、ご負担にはならなかったでしょうか。

S：私もしゃべったことですっきり。役に立ったのか、立たないのかわからないけど。

Int1：恐縮です。これをいろいろまとめさせていただいて、少しでも妊産婦の方が健康的に過ごせるように、今後のいろんな活動に役立たせていきたいと思います。今日は、本当に貴重な時間をありがとうございました。

Uさん：30歳代前半 経産婦

分娩日：2011年3月中旬 分娩時週数：39週

Int：2回のアンケートにお答えいただきまして、誠にありがとうございました。もしお答えしたくないこととかございましたら、遠慮なくおっしゃっていただいても結構ですし、今回、お聞きした情報で行政のほうに何か伝えられることがあればということでお話しを伺っていきたくと思いますので、何かあればどんどんおっしゃって下さい。よろしく願います。下のお子さんが、震災のときにお生まれになったお子さんですよ。

U：そうです。

Int：3月13日、大変なときにお生まれになって、お子さんの成長自体はどうですか。

U：順調です。

Int：この股関節の受診ということアンケートに書かれていますが、何か指摘されましたか？

U：大丈夫って言われました。

Int：大丈夫でしたか。よかったですね。お母さんの方は、体調とかはどうですか、子育てされていて。

U：そうですね、今、妊娠してるので、それもあってちょっと。

Int：あと1カ月ぐらいですかね。

U：そうですね。

Int：じゃあ、もうそろそろですね。もう36週ぐらいですか。

U：35週ぐらいかな。

Int：35週か36週になるところぐらいですかね。大変ですね。4人目のお子さんですね。

U：4人目です。予定外だったんですけど。

Int：1番上のお子さんは？

U：中1です。

Int：男の子ですか。

U：男です。みんな男。

Int：お腹の中の赤ちゃんも？

U：お腹はまだ聞いてない。

Int：じゃあ、楽しみですね。本当、大変なところ来ていただいて、ありがとうございます。震災のときのことをお伺いしても大丈夫ですか。

U：覚えてる範囲で、ですけど。

Int：3月13日にご出産されたということですけども、震災のときは自宅の方にいらっしゃったんですか？

U：はい。家にいて、2番目の子と2人だけでいたんです。で、地震きて、外に出るに出れなくて、おさまってからとりあえず1回外に出て、隣の家のお婆さんと、しばらくおさまるまで外で待ってたら、近所の人が津波来るからって回って歩いてたんで、小学校にお兄ちゃんがいたんで、とりあえず学校に行って。そうしたら、もう津波がきてしまったんですよ。学校に着いた時には、もう津波が来てるから早く上に上がってって言われた状態だったんですよ。

Int：その津波から避難したのは、学校の屋上とかっていうことなんですか？

U：学校の3階かな。

Int：その学校自体は、水がどの辺りまで…。

U：1階は全部って言ってました。1階の屋根ってどうか。

Int：じゃあ、迎えに行ってそのまま学校で。

U：そうですね。みんなで騒いでいたんで。上から見てる人が、もう津波が来てるのが見えたから、もう上がるようにって言われて。最初に学校に逃げてた人が体育館にいたんだけど、体育館にいた人もみんな教室に入るように言われて、とりあえず逃げて。その前に旦那と連絡を取っていたので、旦那の会社に行った方がいいのかと思って、行こうと思ってたんですけど、そうすると津波に向かっていく方向だったらしくて。とりあえずお兄ちゃん乗せてから行くからっていう話をしてたら、もう動かない方がいいって言われたので、そのまま学校に残って。

Int：じゃあ、そのときは、2番目のお子さんと1番上のお子さんと3人でいらっしやったんですね。旦那さんとの連絡は、ずっと取れてましたか？

U：とりあえず、地震の最中は、ずっと電話をつないでる状態で、揺れてからすぐずつつないで、切ったら多分つながらなくなると思って。連絡取って、旦那は仙台新港にいたので、本当に海にいたので、とりあえず今から逃げるっていう話をして、会社の人と一緒に逃げるからって言うので、電源もなくなるし、とりあえず学校にいるからって話だけして、電話を切って、あとはもう、次の日までずっと連絡取れなくて。お腹も大きいし、予定日が15日だったので、周りの人がお腹大きいかから連絡取れるようにって、充電させてくれてたんですよ。それで、旦那に連絡してたら、連絡つかないから、とりあえず来れたからって言って、次の日に旦那が直接学校に来てくれたんですよ。で、もうそのまま保健センターの方に移動させてもらって。そのときも、旦那はもう1回会社に行かないかならないからって行って、子どもたちと夜まで待ってたら、陣痛がきて、翌日12日の夜中に。近所の病院は、通ったことないからっていうので聞いてもらって、Z病院には1回も行ったことがなかったんです。

Int：もともとは、T病院だったんですね。

U：T病院にも連絡が入れられないから、しょうがないから後から連絡するしかないっていう状態で保健師さんとかにいろいろしてもらって、Z病院にも連絡してもらって。

Int：保健センターが避難所になっていたってことですか。

U：お年寄りとか、調子の悪い人とかが、運ばれてって感じ。

Int：学校から水が引いたのはどのぐらいしてからだったんですか？

U：次の日にはもうなくなってた。

Int：1晩は学校で過ごされたんですね。

U：そうですね、1晩学校で。

Int：翌日動いたというか、保健センターの方まで移動して。それは、どういうふうに移動されたんですか？

U：それも車は、浸かってしまってたんで、旦那が運転手で、会社からトラックで来てくれて、そのまま。トラックだからちょっとぐらい波あっても、水が残ってても大丈夫だからっていうので、それで子どもたちもみんな乗せて移動して。

Int：そうだったんですね。その保健センターに行ったときには、妊婦さんだし、予定日とか聞いて、もうそろそろだっということ、保健師さんとかいろいろと。

U: いつ生まれるか分からないっていうので、とりあえず病院の近く、まあまあ近いといったら近いところだし、いざとなれば救急車とかで運べるからって、それで保健センターにきて、学校では大変だからというので。

Int: じゃあ保健センターでZ病院の方と連絡を取り合ってくれた形ですかね？

U: そうですね、学校に回って来てた人が、最初は連絡取ってくれた。看護師さんみたいな人と保健師さんみたいな人が回って来て、調子悪い人を聞いて歩いて、一応言った方がいいよって言われて言ってる。

Int: そうだったんですね。学校の中から先に移動という形で、まず保健センターに行って、そこでまた連絡取ってもらってっていう形ですかね。もともとT病院で産むつもりだったということですよ。

U: 地震の日に実家に帰ろうとしていたんです。

Int: ご実家が向こうなんですかね？

U: そうなんです、東松島で。実家に帰る帰らないっていう連絡をちょうど午前中にして、車で帰っていいか、迎えに来てもらうかっていう話をしているときに、地震がきたんで。

Int: T病院で健診も受けてたんですか？

U: はい、通ってたんです。上も全員T病院で。

Int: そうだったんですね。それもすごいですね。今回もずいぶんギリギリまでこちらにいらっしたんですね。

U: そうですね、上の子のときも1週間前ぐらいにとりあえず帰るからって言って帰って、あと退院したらしばらくそっちに、少しだけいるようになっていうのでいたんで。今回もT病院に行くからって言ってかかってたんで、金額的にもだいぶ安いし。Z病院は高いよっていうのばかり聞いてたので、この辺知らないからZ病院しかないと思って、費用が高いところに行って手出しがいっぱいあるのもひどいよねっていう話で、ずっとT病院に。

Int: 急にZ病院に行って、状況が状況で、初めてのところで、だいぶ不安とかそういうのもありましたよね？

U: そうですね、病院の中自体、入ったことない状態だったから。

Int: 病院自体はどうでしたか？

U: ほとんど人がいなくて、みんな退院させられてたんですよ。救援物資が届かないからっていう理由で、入院してた人もみんな、ほとんど出されてたみたいで。

Int: 当日にもう退院されたってアンケートには書いてありますけど、産んで翌日ですか？

U: それも、食べ物が何もないから避難所に行ってくれて、退院させられたんです。避難所に新生児連れて行くのも…って言ってたら、妹に「アパートに居ていいよ」って、「私は実家に帰るからあそこに居ていいよ」って言われて。家の中がゴチャゴチャするぐらいの揺れじゃなくて、時計が落っこったぐらいだからっていう話で。「ただ、ガスも電気もまだつかないけど、避難所にいるよりはいいと思うよって、赤ちゃんだしね」って言われて。最初は、もし病院に行けなかったら、おばあちゃんたちで助産師さんやってた人とか居るから、ここで産めって、学校で。なんとでもなるって近所の人に言われて、あの人は前やってた人だとかいろいろ言われて。みんなで布団とかも運んできてくれるからって言うので、濡れてない布団使うようになって言われて。一応、地区ごとに分けられてたので、だからいざとなったら、そのままここで産んでいいからとかって言われてました。

Int: 避難されているときから、妊婦さんでお腹も大きかったと思うので、周りの皆さんが配慮して

下さって。

U: 逃げる時も何も持たずに逃げてしまったので、おむつとか持って来てくれた人とか、袋ごと2袋3袋持ってきた人とかもいたので、いっぱい子どもいる人が持ってきて。

Int: 翌日に退院しますよね。赤ちゃんも連れて帰るっていうことで、Z病院さんの方からは普通に近くの避難所に行ってくださいっていう感じだけですか。

U: どこに行くとかじゃなくて、もう避難所とかじゃないと食べ物とかも届かないから、病院ではどうにもできないので、退院してくださいって。

Int: どこどこのここが、例えばお母さんたちが居れそうなところだよとかっていうこともなく、近くの避難所に行ってくださいっていうような。

U: 元のところに戻るとかしてくださいって。

Int: 戻るのも自分で戻ってくださいみたいな感じで。

U: そうですね。

Int: 妹さんのところに赤ちゃん連れて帰って、お一人目ではないので、ある程度赤ちゃんの育児に関しては大丈夫だったと思うんですけど、おむつとかそういった物は。

U: おむつは、とりあえず妹のところに残ってるのと、病院で退院のときに少し貰いましたね。ちっちゃいの1袋かな? 貰って、それを持って帰って。あと寒いのはしょうがないから、布団でもうなんとか。

Int: 母乳ですか?

U: 最初はちょっと出なかったんですけど、でもなんとか大丈夫だったので、母乳とかは大丈夫だった。

Int: ミルクとかはなくても、なんとか母乳で。

U: そうなんですけど、その後に家の方の片付けとかしなくちゃいけなくて。旦那のお母さんが何もいない人なので、しょうがないから、子ども達を預けて行くしかないってなって、水汲みも旦那と私しか行く人がいないからっていうことで、別にどこが悪いとかじゃないんですけど、できない人なので。とりあえず学校休みだから、お兄ちゃんがいるからっていうので、下の子たちを預けてても大丈夫かなと思って。お母さんは、ただ家にいるだけだから、見ててもらっていても、ミルクとかも作れないとかって言うので、全部それもお兄ちゃんに言って、こうしてこうして作ってって頼んで。

Int: お兄ちゃんは、そのとき小学校6年生ですか?

U: そうですね。ちょうど2番目のときも手伝っていたので、その辺は大丈夫だった。

Int: そのときは、妹さんのアパートにお母さんも一緒に行っていたんですか?

U: お母さんは、避難所にいたから、2日後ぐらいに旦那が迎えに行ったんです。避難所に居てもよかったんだろうけど、帰りたい帰りたいって言うから。ガソリンもないけど、しょうがないから行ってくるからって言って迎えに行つて。

Int: それで、一緒にいらっちゃった。お家の方は、津波で全壊ということですか?

U: 大規模半壊。平屋だったので、半分以上浸かって、中はもうグチャグチャ。古い家だったから、底から抜けて水入ってしまつて、ちょうど家のあったところが広がってたんですね。なので、波が集まってるうちに来ちゃったんで。

Int: 物はもう全部…、出産のときのものは病院からですか。

U: でも、辛うじて押入れの上の方は大丈夫で、入院準備してたものは、全部高いところに上げてたんで、それを次の日に旦那が引きずり出して、引っ張って持って来て、それを持って保健センターに行った

んで、それなりのものは。

Int：一通り、とりあえずのものはあったんですね。

U：ありました。入院するものは。

Int：そうだったんですね、よかったですね。それは、保健センターに行く前にお家に寄って、取って行ったっていう感じですかね。

U：そうです。入っていけないぐらいすごかったんですけど、一応、見に行かないと心配だからって見に行って、大丈夫なのだけ持って来たからって。子どもたちの上に着るものとかも、ちょうど洗濯で掛かっていたのが大丈夫だったから、寒かったんで、そういうものを持って来て。

Int：いつまで妹さんのアパートにいらっしゃったんですか？

U：妹の家のアパートの2階がちょうど空いてたんで、そこをお母さんが借りるって聞かなくて、2階の真上を、すぐ借りるからすぐ借りるからって言って借りたんで、そのまま上に移動した。だから今、お母さんそこにいるんですよ、1人で。仮設に入れって周りの親戚の人とか来て、いっぱい言われて、でもお母さんは嫌だって言うから、でも私が今度言われるから。でも、お母さん名義でアパートを借りたから、お母さんは仮設に入れませんって言われて、お母さんだけ残して、みんなで移動して。

Int：どのぐらいいたんですか？

U：仮設に入るまでは、お母さんとことかのアパートにいたんで、仮設に入ったのは5月、ゴールデンウィークぐらいだったんで2カ月ぐらい。

Int：その間、物はどうされていたんですか？おむつもおそらく限界があったと思うんですけど。

U：秋田に親戚がいて、旦那のおばちゃんがちょうど薬局をやってて、ほとんど買われてなくなったけど、在庫で取っておいたっていうやつを車で運んできてくれたんですよ。産まれたばかりだって聞いたからってなので、おむつとかいっぱい持って来てくれました。あと食べ物とかも持って来てくれたんです。とりあえず、米とかは妹のどこにあるのを食べていいからって言われて。あとはもう、お店開いたころには水汲みに行きながらお店に寄って、買い物してっていうのをやってたんですけど。それも産後すぐだったのに、市役所まで遠いから、しょうがない自転車に乗って、市役所まで行って水汲んでっていうのをやってた。車じゃ、ガソリン使うしって。自転車乗っていいのかな？とか言いながら。

Int：大変でしたね。

U：家の片付けに行ったら、近所の人とかに、生まれたばかりじゃないの？何やってるの？とかって言われて、産後なのって言われた。お母さんがしないのを分かっている人達だから、「でも、あのお母さんだし、しょうがないね。無理しないんだよ。」とかって言われながら。

Int：赤ちゃんのお風呂とかは、もちろん入れられなかったですよね。

U：お風呂も何日目かな？でも浄水器を旦那のお兄ちゃん家で付けてて、それでお湯が出るし、水もあるからってなので沸かして、赤ちゃんだけなら入れられるから連れてこいって言われて。お兄さんとも、ちょっと前に子どもが生まれてたんですよ。その子も入れるし、2人だけだったら入れられるから連れて来ていいよって言われて、初めてそこでお風呂に入れて。生まれて3日か4日してからかな？生まれてそのままだから、もう頭カピカピで、すごくベタツとなっていて。

Int：そうですね。

U：全く入れない状態だったんで、1回でも入れてもらえれば、カピカピの頭が落ち着くよなって言って、入れてもらって。あとは、ガスが出るまでどうしてたのかな？ああ、ガスコンロでお湯沸かして

拭く程度ですね。タオルを濡らして、拭いたりとかっていうのをやって。

Int : お母さんのほうもその辺りは1番気になったんじゃないですか、産後すぐですし。

U : そうですね、洗浄綿があったからよかったけど。

Int : ナプキンとかは？

U : ナプキンとかも、とりあえず、入院の時の出産準備で結構それなりに用意してて、あとは病院でお産セットの中に入れてたのでなんとか。そのあとはもう、お店開いたときに買って。

Int : Z病院で赤ちゃんを生んだばかりの人がってということで、すぐ誰かが回って来たってということは一切なかったですか。

U : ないです。

Int : その後、1カ月とか経ってからも全く？

U : 退院して次の日とかに、検査とかするので病院に来てくださって、何日後に来てくださってっていうのはあって、それで行って、普通に病院で、本当は入院中にするだけとできないからってなので調べてもらったりとかはしたんですけど。特別はない。

Int : 特別、市の保健師さんとかそういった人が来るとかっていうことはなかったんですね。

U : なかったと思います。

Int : 本来、新生児訪問とかあると思うんですけど、そういう形でも来てないですか。

U : すぐじゃなかったです、しばらくしてから。

Int : 結構、経ってから？

U : 状況が状況なのでっていう連絡は来ました。

Int : 連絡は来たんですね。大丈夫ですかみたいな？

U : はがきを出したので。すぐは行けない状態なので、落ち着いてから回る形なんですとは言われました。

Int : それだけで、震災後すぐの3月に生まれているので、保健師さんや助産師さんが大丈夫かなっていうので回って来たりとかそういったことは、すぐには全くなかったってということですね。

U : そうですね。

Int : 避難所にいた方では、そういうことがあったっていう話とかを聞いたりしましたか、あんまり聞かないですかね。

U : 避難所…。

Int : あんまり関わってないですか。

U : うん。学校に避難していた人たちは、ビックアリーナに移動したって出てたんですよ。しばらくしてから、なんか連絡が来て行かなきゃいけないって、そこに行ったんですね。大丈夫？って言われて、とりあえず大丈夫だけとってという話をしたら、ここにいたらみんな風邪引いてたりするから早く帰った方がいいって言われて。風邪引いてる人が多いけど、隔離できなくて、その地区はそこって、場所が決まってるから、そこから出れなくて、端っこの方にいるだけしかないから、赤ちゃんにうつると困るよって。

Int : 周りの方のそういった話とか聞いて、避難所にいるよりは、こっちのアパートにいた方が断然いいとご自分で判断されたんですね。

U : なんか早かったんですね、ガスとかつのが、確か。アパートのある方は、そんなに被害もなくて、津波とかじゃないから、結構すぐついたんでしょね。何日目だったか覚えてないけど。 Int : 1カ月

弱ぐらいなのかな？大体 20 日目って（アンケートに）書いてありますね。

U：そうですね、結構すぐついたから。それまでの間は、大変だったけど。

Int：いろんな面に関して、自力で何とかしたという感じですか？

U：そうですね。最初のうちは、妹の友だちでどこの人が分かんないけど、心配して水とかを持って来てくれたんですよ。飲み水程度だけどって持って来てくれて、それをチョコチョコチョコチョコ使いながら。全然知らない人だけどやってくれた。妹のところは旦那さんの家が農家でいろいろとあるから、うちは大丈夫なんだって言われて、そっちに持って来たりしたら、そのまま受け取って、全部使っているからって言われたんで、とりあえず大丈夫だなと思って。

Int：やっぱり周りの方の助けもあってという感じですかね。

U：そうですね。食べ物とかはそうですね。

Int：1 番あったらよかった支援では、給水とか、避難所にいなくても支援が受けられるような体制と書かれていますね。

U：給水も回ってくるものなのかなと思ったけど、そんなにそんなに来るものでもないし、指定されてるところがすごい遠いところだけだったんです。

Int：そうだったんですね。

U：1 番近いとどこ？って聞いたら、ハナトピアかどこかだったんですよ。ハナトピアに行くにも結構遠いから、自転車です役所に行くのも変わりないし、ハナトピアの方に行ってしまうとお店とかがなく、いざというときにお店入って買い物するっていうことができないから、それなら市役所に行った方がいいよねってことで、市役所に行ってたんですけど。

Int：震災の後、すぐ出産されてますよね。出産後、すぐに退院させられて、1 番はその後の生活っていう面で、支援がもうちょっとあったらよかったなっていう感じですかね？1 番怒涛のときだとは思いますが。

U：バタバタしすぎてね。産んだとき出血が多かったんですけど、それだけだったんでとりあえず退院もすぐできたんですけど、退院した後に、貧血気味で、調子がよくなかったんで。最初、出血がひどすぎて、このまま落ち着かないと貧血になってしまって、輸血しなくちゃいけないから、大きい病院に運ばれていかないと駄目ということで、上もいるし、それでは困る困るって言って。とりあえず、お腹マッサージできるだけしてって言われて、先生がチラッと来た。でも、私よりひどい人がいたんです、最初からずっと分娩室に入っていた人がいて、その人は多分、救急車で運ばれて行ったみたいなんですけど、すごい大変だったみたい。だから、軽かったんだな、私は、産むのが、と思った。すんなり生まれたから。

Int：そうだったんですね。

U：通ってるところじゃなかったの、状況が分からないから、病院の方も大変だとは思ったんですけど、もう母子手帳しか…。

Int：そうか、情報がね。

U：母子手帳とあとは私に聞くしかない状態だったけど、私もそんなに覚えてないし。特別、ひどいところはないしなっていう状態で分娩室に入ったんです。

Int：見なし仮設ということで、市営の住宅の方に今いらっしゃるみたいですけど、それはどういう経緯があってそこに入られたんですか？

U：仮設の応募のときに、普通の仮設と公営住宅とっていう、なんか記入するところがあって、赤ちゃ

んいるんだったらどっちも丸付けておいてねとか言われて全部丸付けたんです。最初に連絡来たときは、違うところの市営住宅で 5 階しか空いてないって言われて、5 階だけ階段しかなくて、それでは入れないって言って断ったら、今いるところがちょうど 1 階なんですけど、1 階が 1 カ所だけ空いてるからって連絡来て、とりあえず入るか入らないかだけ連絡くださいって言われて。お母さんは何もしないから、ご飯の用意とかも何もかも、全部私がしなくちゃいけないし、家の方も片付けに行かなきゃならないし、これはひどいと思って、やることいっぱいあって、私がきつって言ってそこに入った。いろいろひどくて、こんなときぐらいどうかしてくれればいいのにねって何回か言ったんだけど。

Int：お子さんのこともいろんな面で心配はあると思うんですけど、1 番のストレスの原因っていうのはお母さんですか。

U：もともと何もしないのは分かってるけど、なんだか自分だけ被害にあったみたい、私だけ怖い思いしたみたい。でも自分だけが地震に遭ってるわけじゃないし、どれだけ家がひどいかも見てないんですね。しかも、見に行こうともしないで片付けもやっというてみたい。でもお母さんの荷物がほとんどだから、どこから手付けていいか、私分かんないよって言うんだけど。しょうがないんで、妹が手伝うからって言うてくれたんで妹に頼んで、妹と旦那と私で片付けし始めてですね。あとはもう近所の人や、ボランティアの人を回してくれたんです。お年寄りメインで回ってるんだけど、産後の私がいたのを言うてくれたんですね。

Int：今も相談にのってくれるのは、ご自分のお母さんとかですか？

U：そうですね。ただ家が遠いので。

Int：今、ご主人はお仕事で結構忙しいですか。

U：地震のときまでは長距離の運転手をしてたんだけど、あんまり遠くまで行かないように、行っても福島とか山形とか、できるだけその日に帰ってくるように仕事の内容を変えてもらって。あとは基本的には会社の中で仕事する状態にしてもらって、いろいろ心配もあるからっていうので。

Int：ご主人とは、育児に関して話すとかそういうのはあんまりないですか？

U：しないです。ただ、いざとなればいるだけで頼むことができるからいいんですけど、基本的に、いつもは遊んだりする程度でそんなに何かするっていうことはない。気が向かないとしないから。

Int：今保育所とかは入ってないですね。

U：そうですね、来年幼稚園に入れるので、とりあえずは。もともと幼稚園に入れるつもりで、私が仕事してないから保育所入れられないからっていうので。

Int：育児サークルとか、そういうお子さんが集まる場所っていうのは、あんまりどうですか？今日みたいな市の健診には行くけれども。

U：基本的には行かないですね。行ったことはあるんですけど、何だろう、結構乱暴なので、一緒に遊んでる子のお母さんとかがあんまりいい顔しないから、やめた方がいいなと思って。子ども同士はそんなでもないんだけど、やっぱり…。そういうところに来てる人って 2~3 人で来てるじゃないですか。だからそうすると、結構、子どもは仲良く遊べるけど、親はあんまりなと思って。とりあえず、兄弟 2 人で遊んでるしなと思って。

Int：市営住宅のところとかでは、遊ばせられるんですか？

U：一応、公園はあるんです、近くに。ちっちゃい滑り台が 1 個あるだけなんで、あとはもう広いから、走り回るだけ回って、あとは散歩だけ。ベビーカーに乗せて散歩して、歩かせて散歩して、買い

物しながら公園寄ってっていう感じ。あとは家の中でね。

Int：あとは、兄弟の方がいろいろ聞いてくれたりとかしますか？

U：そうですね、子どもも同い年ぐらいだから、何かあったときには。風邪引いたとか、今これが流行ってるんだってとか、この風邪が流行ってるらしいよとか、注射をするときにいくらぐらいでできるとか。

Int：そういう情報はそこからもらって、例えばお医者さんとか保健師さんとか専門家と話す機会っていうのは、あまりないですかね。

U：そうですね、2番目のときはストレスで近くの病院に通ってて、母乳をやってたんで、定期的に漢方薬だとか出してもらったりしてたんです。あとは保健センターの人、保健師さんと話す機会もあって、いろいろ話をしてたんで。2番目のときが1番ひどくて、家の中っていうかが。

Int：精神的にもいろいろなものがあって。

U：ちょうど旦那の妹も離婚して、今は再婚したんですけど、そのとき1人だったんで、子どもをあんまりみないで、すぐお母さんのところに置いてくような人だったから、私が手掛けないと、お母さんはご飯食べられないし、こっちもみなきゃならないしっていうのですごい気使って。子どもに1番気使って、妹の子どもとかに気使っていたんで、私も再婚だったから上の子どものこともだし、下もだし。だから、それが1番ひどくて。

Int：じゃあ1番上のお兄ちゃんは、失礼ですが前のご主人の。

U：連れ子ですね。

Int：そうだったんですね。その辺の関係は大丈夫ですか？震災のときとか、お家の中で特に何かありましたか？

U：家の中でどうかっていうのはないかな。お母さんのことは何もしない人っていう感じでもう見るから。もとかからお風呂とかも入らない人だから、そういう目で見てるんだと思う。どうせあの人は何もしない、だから、旦那も話しかけられるけど、何言ってるか分からないみたいなのがあって、結構適当に聞いてたりするんで、そんなちゃんと話したらとか言っても、だって何言ってるか分かんねえからいいんだとか。今もう一緒にいないから、今度出産するときに家に来るって言ってるけどどうする？って言うから、ええ？いても何にもできないからいいよって。

Int：ちなみに今度はどちらで産まれるんですか。

U：名取のクリニックです。あそこの評判いいって聞いて。託児所もあるから、通院するときに楽だし。Z病院では、予約とっても待ち時間あるよとかって聞いたんで、T病院には行くなかって言うしなと思って。

Int：そうですね、もう4人目ですからね。さすがに何かあって、T病院まで駆け込むのはちょっとリスクがあるかもしれないですね。

U：最初の予定では、T病院行って、早めに実家に帰るつもりだったけど、実家も仮設なんで。実家の仮設は、本当の仮設なので。お母さんの的には周りから言われるから、どうするの？どうするの？って連絡ばかりよこすんですけど、地震のとき片付けとかするのに預けててもおむつとか交換したのも長男なんで、どうせしないで、眺めてるだけだから。遊んでるのを見てるのはできる。でもそれも全部私に気使ってるからなんだって言うから。

Int：今、子育てされてるのは、基本的にはご自身のみで…。

U：かえって面倒くさいし、本当にどうしようもないときだけしか預けたりもしたくないからって言う

て。卒業式の日とかは仕方なく預けるんですけど。妹がいるって聞いたから、そのときも預けて、妹がいればおむつ交換してもらえと思って。

Int：何かあったときに預かってもらったりとかっていうところは、ないですか？出産のときとか。

U：陣痛きたら、旦那に会社に行かないようにっていう連絡してるから。あと運送会社だから、休もうと思ったら休めるんだからいいんだっていうので。

Int：じゃあご主人がいてくれるんですね。

U：退院するまで面倒見なさいよ、分かった？って言ってます。あとお兄ちゃんも冬休みに入るから、学校の方で部活とかあるかもしれないけど、それを顧問の先生に言ったら、状況が状況なのでいいですよって、冬は大会も何もないし、練習やってもねみたいな感じだったので。だから、生まれてすぐ実家に帰るとは言ってるんですけど。

Int：そうなんですね。でも、向こうも仮設ですもんね。

U：仮設なんだけど、同じ敷地内の仮設に妹のところもあるので。だから赤ちゃん連れて行っても、上の子たちは妹のところで遊べるから、同じ年ぐらいだし。みんな泊まるって言えば、勝手に泊まっても歩いて行ける距離だし、その方がいいよねって言って。どうせこっちにいたって全部しなきゃいけないから、それではひどいしねって言って。

Int：そうですね。東松島の方に行けば、Uさんの的には少し心休まるんですね。

U：そうですね、なんでだろう。いくらかでもやってもらえるから。

Int：そうですね、いくらかでもね。1つでもやってもらえると、ストレスがちよっとは違いますよね。

U：ご飯炊くだけにしても、してくれれば。その違いですね。

Int：精神的なこととか伺ってるんですけど、育児面というよりは、どちらかという旦那さんのお母さんとの関係性ってところの方が、ストレスの大元になっているという感じですかね。

U：そうですね。旦那に毎日電話をしてくるんですね。仕事でも電話するらしくて、出るまでかけ続ける人なの。基本、私にはそういう連絡とかはないんだけど、旦那が呼ばれて、お母さんの方へ行って帰ってきて、すぐまた電話よこしたりとかもあるから、そうすると家で電話してるんでさっき行って来たのになんでわざわざってなる。もう言っていることがハチャメチャだから、特に何かを言うつもりじゃなくても、ただ電話よこして、旦那にちゃんと話ししてくれば？って言うんだけど、だって何言ってるか分かんないし、話したいことが分かんないからって。それは、旦那だけじゃなくて、妹にも仕事でもずっと出るまで電話かける人だから。旦那と連絡取れないなと思ったら、電源切れてたんだって。お母さんは、これを言わなきゃいけないと思うと、連絡をすごいよこすみたいで、たまたま家で旦那も寝てしまったときに電話がきたときには、息子が出て、もう寝てます、もう起きないですとかって、代わりに話ししてもらって。でも同居しなくちゃいけないから、いずれは。

Int：そうなんですね。

U：仮設から出る前に、もともとの場所に家を建てるって言ってきかないので、建売住宅買った方がすぐ入れるし、安いかもよとかって言うんだけど、なんか変なこだわりがあって、それは駄目だとか、建てる人はあの人でないと駄目だとか。特別根拠があるわけじゃなくて、この人が1番いいって思い込んでるから、その人じゃないと建てないとか。なので自分たちが住む家として、子ども優先に住む家とか部屋数とかを考えたんだけど、そういうのはお母さんの的には、自分の部屋があればいいみたいで、早く息子と住みたいみたい。それしかない、そればかり。息子が1番なんですね、旦那がね。

兄弟の中でも1番話を聞いてあげてるから、お兄ちゃんとかはもううるせえとかって言うから駄目なんです。そうすると、1番旦那が話聞いてくれると思って毎日連絡して毎日話して。周りからも、お兄ちゃんいるんだけど、お兄ちゃんじゃ駄目だから、あんたが面倒みなきゃないんだからっていうのを、結婚したときからずっと言われてた。私も会う度に、おばあさんとかから、面倒みてやんなきゃないんだって言われてたんだけど、介護するほどの年でもないのに全部してあげなくちゃいけない、ご飯とかも並べてやないと食べないとかあるから、ご飯ぐらい自分で食えるとかできないかな、食べ終わったの片付けるとかできないかなとか言うんだけど、それはそれでしてくれない。それは、私に気使ってるからしないって。

Int: そうですね。アンケートで、ご主人との関係には不満っていうところに印が付いてるんですけども、やっぱりそういうのもあるからっていうことですか。

U: そうですね。あとはもうなんだろう？休みの日ぐらい遊んでよとかって言うんだけど、1人でフラッと遊びに行ってしまうとか。

Int: それは震災の前も、以前からですか？

U: 震災の前はほとんど家にいなかったから、たまにの休みだしなっていう思いがあったけど、今は、毎日帰って来てるじゃんみたいな。時間になって大体帰ってきて、子どもと会ってるからいいだろうぐらいの感じなんだと思います。

Int: だから、そういう休みの日でも…。

U: そうそう、自分でどこか釣りに行ってみたりとか、会社の人とツーリングに行ったりだとか、フラッと行ってしまって。今大変なんだけどって言うんだけど、午前中だけだとかって行っちゃうんで、あれは、分かってないんだわって。

Int: でも、お腹の中のお子さんのことに関しては楽しみにされてはいるのかな。

U: そうですね。

Int: その先のこと考えたら、Uさんとしては大変だっていうのあるけれども…。

U: 大変なんですけど、最初どうする？っていう話して、私はとてもじゃないけど、今の状況でいずれ同居ってなったときに、絶対ひどいから絶対無理だよって、墮ろす墮ろさないでもめて…。結局、怒られて、強制的に産めみたいな。旦那的には墮ろすとかそういうのは絶対駄目だったって言うんだけど、1番負担がかかるのは、私なのよ。大変なのは私だけだから、調子悪くなるのも私なのにな…と思いつつ。でもまあ生まれてしまえば、大変だけど何とかなるからみたいな、じゃあ分かったよって。

Int: 今、3番目のお子さんが次の3月で2歳で、そういう中で次のお子さんがまた生まれるっていうのもありますけど、支援として行政とか周りで、こういうのがあったらもうちょっといいのになとか、あと保育所とか幼稚園とかそういうところがもうちょっと充実してたらいいのになとかってことはありますか。今、仮設でも見なし仮設の市営住宅で、支援に結構差があるっていうようなこともアンケートに書いてあるんですけど。

U: あるみたいですね。聞いた感じでは仮設のほうがそれなりにみんな居るから、何かあったときに優先的っていうか、なんでも仮説にはあったり。息子の同級生も仮説に入ってる人が多いので、いろいろ聞いたりすると、へえ、そういうのあるんだ、うちに連絡ないねとか。だから、なんだろう、復興住宅できるよっていう情報とかも市役所に聞いたら、連絡行ってませんでしたか、仮設の人には、アンケートとか出してるんだけどって言われて、うちには何も来てないですっていうのがあって。そういうのが結構後回しになるのかな。あっちの仮設にいる人達は、家も建てれないところの人達が多

くて、そういうので住むところが限られてるから、公営住宅建つところに集団移転とかになると、この人達が優先になるのかなと思って。

Int：アンケートの地震でドキドキするっていうところに、結構度々あったと書いてありますけど、精神的にどうですか。

U：携帯の音ありますよね？

Int：緊急地震速報。

U：あれを私は設定してないんだけど、旦那が設定してて、それで具合悪くなるから止めてくれてっていう話をしたら、外したつもりが鳴ってたみたい。地震になっても結構みんなシラーっと平気な顔してるんですよ。家も市営は古くて結構揺れるから、ええ！？地震だよって言っても大丈夫だよって。ここまで津波は来ないからって。

Int：津波は実際に見られたんですもんね。

U：そうですね、ただ上から波が来るのを見ただけなんです。その後、映像でしか見てないから、あそこまでひどいのは直接見たりしなかったんですけど。

Int：2番目のお子さんは、何か変化はありますか。

U：地震が大きいとびっくりして逃げては来ます。あとは、おむつが未だにまだはずれてなくて、はずれかけてたときに、地震になってしまって、1人でトイレに行ってたのに、行きたくないとか、結構怖がるっていうか。幼稚園に行く前におむつはずしたら？って言うんだけど、パンツはきたくないとか。それ以外には、大きい音が鳴ると怖がります。ドアが、ガタガタって鳴ったりすると地震だと思って。だいぶ落ち着いてはきてる。ただ地震って聞いたら怖くて、あと津波の映像とかテレビでやってたりすると、黙って見てる。自分の中でいろいろあるみたいで、ガレキがあるところとかに行くと、ガレキすごいっぱいあるね、とかって言う。

Int：震災があって、それぞれのお子さんに対して、特にそのとき育児とかでいっぱいいっぱいになったときに愛情に変化があったりしましたか。それぞれ赤ちゃん、2番目のお子さん、1番上のお兄ちゃんだったと思うんですけど。

U：やっぱり手が回らないことはありますけど。1番手掛かるの誰かなって、こっちやってたら、こっちやんなきゃないとかってなると、1番上はやっぱり自分でできるでしょ？ってなっちゃうし。1番上も2番目が言うこと聞かないから3番目がかわいくてしょうがない。今あの状態だから、何するとかっていうものでもないから。あっちは逆らったりするので。パパがいるとパパが許してくれるっていう気持ちがこの人（2番目）はあって。遊び方がものすごい乱暴なので、家の中で狭いのになずっとやってるから、ケガしたりするんですけど、おかまいなし、乱暴なの。すごく調子にのって遊び出すから、あんまり連れて歩けないんです。

Int：今、保健師さんとかと何か関わりはありますか？4人目のお子さんも妊娠されてるので。

U：健診とかに行ったときに話するぐらいで、特にはないですね。

Int：震災で津波でお家の被害もあって、いろんな所に避難されてましたけど、全体としてこういう支援が、例えば、赤ちゃんがすぐ生まれてますよね。だから保健師さんとかにもっと頻繁に回ってもらえたらよかったとか、お母さんのもうちょっと入院をしっかりとできて、ゆっくりできるそういう場所が欲しかったとかってというのは、ありますか。

U：病院によって出産費用とか違うじゃないですか。災害のときに仕方なく行ける場所って限られてくるし、自分で行こうと思ってる場所じゃなくなるから、計画的に考えて通ってたとするとうまいお

金掛かったりするんで。部屋に入ってる日数少ないし、ご飯出たわけでもなんでもないんだけど、当たり前にすごいお金が掛かったんで、手出しがすごくて、ここまで請求するの？みたいな。普通に出産してそれぐらい取られるのであれば、普通の出産だしねって言えるんだけど、あの状況でまで同じぐらい普通に取られるんだね。生まれてすぐ退院して、ずっと真っ暗なとこだったんで、点滴とかするくらいだったのに。それなのに結構な金額掛かったから、ウワサでは聞いてたけど、ここまで値段違うとひどいなと思った。

Int: 1番はそこですかね？

U: やっぱり。計画的にこれくらいかかるだろうなとか思ってたの、今回の請求でしょ。家もなくて避難してる状態だから、これからお金掛かるっていうときに、思った以上に掛かってしまって。すごい、こんなに掛かるんだねとかって。イメージ的に出産のときのこれしてあれしてっていうのじゃなくて、ほとんど電気とかもつかないから心電図がどうとかでもないじゃないですか。電池式のやつでやったりとかだったから、特別何かされたわけでもないんだけど、丸々掛かったねとか言ってる。本当にこういうカーペット引いた床のところに布団引いて、そこで寝ただけだった。大広間にみんな並ばされてとりあえずここでみたいな、1カ所集められてっていう感じだった。食べるものは何もないのでとかって、ご飯が1食だけ出たんですけど、夜だったかな？本当に少しだけだからって感じで、おにぎり1個ぐらいよこした。これでそんなに掛かるの？ええ？って。その後も何だかんだいって通わなきゃいけないときも、来てくださってって言われたとしても、行くのも大変だよって言いながら、ガソリンもなくてねとかって言ってたんで。そこだけがひどかったかなと思って。受け入れしてもらったことに関しては助かりましたけど、あんまりにも高くついたんで、そこがね。予算内でこれくらいだねって言うてる中での、プラスいくらっていうのは結構大きいなと思って。

Int: そうですね。本日は、いろいろお聞かせていただいて、長い時間ありがとうございました。もうちょっとお話ししたいですけど、お子さんたちもいますし、また追加でお話を伺うことがあるかもしれませんが、その時はよろしく願いいたします。

U: なんか1回だけ、1年以上経ってからZ病院から電話来たことあります。テレビ局の取材があるんですけど受けてもらえませんかみたいな。えっ、何ですかそれって。直接連絡しますねって言われて連絡来て、話はするのは構わないけど、別に顔出してテレビに出てとかなんかそういう取材は嫌ですよって言うこと言ったら、あとは一切何も連絡なかった。そのアンケートがT病院から来てました。T病院の助産師さんが連絡よこして、Z病院から聞いてる？って、いや、一切何もありませんよって言って、Z病院からも行くかもしれないんだけどさって、もしよければ、アンケート届いても大丈夫？とかって言われて、大丈夫ですよって言って。「何も言われてない？Z病院で」って言うから、何もありませんよって。やっぱり通院とかしてないから、なんですよ。

Int: でもZ病院さんの方から、テレビ局の取材に関しては連絡来たんですね。

U: 電話きて、そういう状況だったから、旦那はちゃんと病院で産ませればもらえたけど、あれではひどいから、あんな広間に寝せられて普通の入院と同じ扱いとはひどいよって、ちゃんと行って話ししてきたらいいのには言われたんだけど。

Int: そういうときに、ちゃんとした対応ができる体制が1番ベストですね。病院内にいらなくても、避難所でも小さい新生児がいる人とか妊婦さんとかが、ちゃんと指定された、隔離された場所にいられるっていうような。物資とかの面でも違うでしょうし、そこに医師が来るっていうことでも違うと思うので。